（別添資料１）

事業所名　プラスアップ・ラボ実籾第２教室

支援プログラム

作成日　7 年　3 月　10 日

法人（事業所）理念	私たちは、「人×人」とのコミュニケーションをサポートし、ともに歩んでいく企業です。幼児期から運動×学習を中心にお子様の成長を長期にわたって支援するサービスを行っています。お子様の中には、特性の偏りにより「生きずらさ」を感じている場合も多く、早期段階から「生きる力」を育んであげる事が大切だと感じております。「生きずらさ」＜「生きる楽しさ」となる様に、「楽しい思い出」をより多く蓄積させてあげる事が重要であり、成長に不可欠な「自己肯定感」が向上できるよう、様々なサービスをスモールステップにて提供しております。「人×人」が生み出す無限の可能性を信じて、知育～就労までトータルサポートさせて頂くことが弊社の使命です。			
支援方針	個々の特性に配慮し、小学校高学年～高校生まで役立つスキルトレーニングを取り入れています。個々の時間を大切に出来る個別活動を推奨しています。毎日の取り組みとして、学習システム×週替わりのスキルトレーニングを行っており、将来の就業種に向けての気づきや、PCのスキル向上を主軸として活動しています。児童生徒との適切な距離感を保つように支援側も精神衛生面にも十分配慮し、自己肯定感を高める指示を行う事により、継続的に取り組めるようにしています。支援者目線で判断するのではなく、児童生徒の目線で考えた上で、時代に合わせた最新のスキルトレーニングを提供する事を心掛けています。			
営業時間	10 時　30 分から　19 時　30 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし	
	支　援　内　容			
本人支援　健康・生活	生活リズムの確立・基本的な生活習慣の形成を支援します。サービス提供時間での食事補助・指導、や清潔保持、マナーなどに関する指導を通じて、健康の土台を築くとともに、子どもの発達段階に応じた支援行います。通所時の検温・うがい・マスク着用時のルールなどを守り、防疫対策を常時行っています。当児自身が他者を思いやる衛生面での配慮ができるように成長を支援していきます。特性や年齢に応じたスモールステップ支援を心掛け、総合的に支援をしていきます。			
本人支援　運動・感覚	STEAM教育のブロックを使用した活動を定期的に取り入れています。工学・力学を学ぶ事活動ですが、複雑な組み立て工程があるため、指先の巧緻性を育む事に繋がります。また、土曜日・祝日・長期休みの期間は、他事業所と合同でスポーツ活動を開催しています。楽しい運動遊びを提供する事により、脳の血流を促し、集中力の持続時間が向上できると共に、集団活動によるコミュニケーション力を育む活動にもなります。定期的に運動をする事により、適切な発汗作用が促され、規則正しい睡眠時間により自律神経が安定します。			
本人支援　認知・行動	特性による個々の興味分野や発達段階に有効であると推測される活動を通じて、認知力・行動面の発達を促進支援します。集中力を高め、課題解決に至るために、思考的なゲーム要素を取り入れ、気づきに繋がる支援をしています。学習支援でも取り組みやすい成功体験を重ねることで、自己肯定を育てます。行動面では、自己コントロール力を養うためのルールを学ぶ活動や、待つ・譲るなどの相互感の情報を理解し、社会的スキルを身に付ける訓練を行います。家庭や学校と情報連携を行い、日常生活においても支援をします。			
本人支援　言語コミュニケーション	自己肯定感が高まるような支援を心掛けています。言語能力やコミュニケーションスキルの向上のために、本児の特性・発達段階に応じた言語訓練を行い、語彙力や表現力を育むため、プレゼンテーション要素を入れた集団活動を行っています。それにより、発言・発表する機会を設け、言葉を使う楽しさを伝えます。他者との関わり方を学ぶため、体を使ったゲームや集団活動を取り入れ相手の気持ちを理解する力を伸ばします。多様な場面で自信を持ってコミュニケーションを取れるよう成長を支援します。			
本人支援　人間関係社会性	社会性を育む支援を行い円滑な人間関係を構築する術を学べるように支援します。毎月の制作活動を小集団で他者と協力する取り組みを行うことにより、コミュニケーションスキル、自己表現力を育てます。ソーシャルスキルトレーニングとしてカードゲームを使用し、相手の立場や感情を理解する力を養います。自己感情を理解するため、振り返りの時間を設け、集団生活への適応をサポートしています。			
家族支援	児童生徒の特性や年齢・発達段階に応じ、地域の福祉資源と連携をし支援をしていきます。保護者と本児とのコミュニケーションのサポートをするために定期的なヒアリングや、他事業所との情報の連携を行います。	移行支援	進級・進学に伴い、今までの支援情報が途切れないよう、学校・他施設、相談員と連携し、特性に応じた環境の構造化を整え、自己肯定感を育む活動を行い、新しい環境でも適応できるように支援をします。	
地域支援・地域連携	保育所、学校、福祉施設と地域情報の連携を心掛け、情報交換などの後方支援も行います。支援格差が生じないように、地域住民・団体との交流活の場を設けられるように環境づくりを企業・事業所ともに推進していきます。	職員の質の向上	定期研修を実施しており、法定研修以外にも外部講師を招きアンガーマネジメントや、行動療法、保護者との絆を結ぶペアレントトレーニングなど支援に有効な知識・技術を習得し、スキル向上を図ります。	
主な行事等	毎月、季節に応じた制作活動を企画しており、多様性を発見できるための有効な取り組みにもなっています。巧緻性を高める目的や、立体構造の把握、想像・思想を育む取り組みを職員間で案を出し合い企画する事で、フィードバックもスムーズに共有する事ができます。その他外出活動では、他事業所との合同活動も行っており、体育館にてスポーツ競技を取り組む事により異世代の地域交流にもなっております。校外学習として、事前に授業で学んだ事を博物館、水族園、美術館、音楽鑑賞などで実地経験する事により、成長を促す体験活動を行っています。			